

中央大学 2025 年度一般選抜

【出題の意図】

試験日	2025 年 2 月 9 日
学部・試験方式	5 学部共通選抜
科目	世界史

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

設問Ⅰ

【出題の意図】

「歴史総合」の主旨の一つである世界とそこの中の日本を広く相互的な視野から捉える

との視点を考慮して、シュリーマンとその旅行日記『シュリーマン旅行記 清国・日本』を取り上げ、当時並びに関連前史の世界や日本に関して、総合的かつ多角的に問う設問を出題した。設問Ⅱの間Ⅶにおいては、文字資料から読解力を試す問題も設けた。

設問Ⅱ

【出題の意図】

イギリスの産業革命とその後の国内外の情勢に関して、工業、農業、対外政策についての理解度の確認を試みた。設問Ⅱの間Ⅶにおいては、資料の読み取りとして、1870年から1910年までの世界の総工業生産に占める列強の割合を示したグラフから、工業生産力の主軸がイギリスからアメリカに移り変わる変遷を読み取る問題も設けた。

設問Ⅲ

【出題の意図】

司馬遷の『史記』を端緒に古代中国、特に春秋戦国時代を中心に当時の政治、社会制度さらに諸子百家が誕生する背景やその特色、問題点を難易取り混ぜて問う設問を出題した。設問Ⅱの間Ⅱにおいては、甲骨文字の文言知識から現物を選び出す総合力を問う問題も設けた。

設問Ⅳ

【出題の意図】

2025年が日ソ基本条約調印から100年ということで、20世紀の両国の関係史を政治、外交を中心に多岐にわたる設問を出題した。現在においても日露間の大きな外交問題である北方領土に関しては、設問Ⅱの間Ⅳにおいて、常日頃より地名と地図をリンクさせているかを問う地図に関する問題も設けた。